

## 解剖・組織技術研究第 18 回研修会参加報告

医学系部門 基礎社会医学班 清水 伸輝

### 1.はじめに(目的等)

解剖学関係の技術職員、解剖組織技術士の研修を目的とし、形態学分野における技術の伝承と発展を基本理念と考え、日常の解剖技術業務に関する報告、現状の問題点等を研究会での発表を通して意見交換を行い、今後の業務遂行に役立てることとしている。

### 2.期間・場所

期間:2022 年 11 月 19 日(土)

場所:名古屋市立大学ミッドタウン各駅サテライト JP タワー名古屋 5F

### 3.参加者等

各大学の解剖学技術職員 約 40 名

### 4.研修内容

教育講演:1 題

全体討論:「ヒヤリハット事例、重大事故防止への取り組み」についてのアンケート報告、リスク管理についての討論、情報交換

### 5.まとめと感想

今回の解剖技術研修会では、アンケート結果報告(31 大学回答)による解剖業務でのご献体取り違えが発生しない対策法(ご献体者名と識別番号のダブルチェックを複数人で行う等)や、技術職員は解剖学の教員、事務職員とも情報共有を続けて行く事が大切。

さらには解剖実習期間中に発生するカビ対処法としてはアルコールやキッチンハイターの液をスプレーするなど参考になった。

今後ご献体を取り扱う我々は感染防止にも細心の注意を払い、使用器具・機器や試薬での事故も発生しないよう業務を心掛ける。